

経営計画書

(令和5年度～令和8年度)

公益財団法人 静岡市まちづくり公社

令和5年4月

目次

序 章 経営計画の概念図.....	1
第1章 経営計画書策定の趣旨.....	3
1 計画の目的.....	3
2 計画の期間.....	3
3 公社の基本理念・役割.....	3
4 計画の展開.....	4
第2章 市民に提供する価値（現状・課題・取り組み）.....	5
1 中心市街地の賑わいの創出、まちづくり支援.....	5
2 交流人口・関係人口増加に資する施設等の管理、事業実施.....	7
3 セーフティネットとしての市営住宅の管理.....	11
4 災害対策・防災支援を担うヘリポートの管理.....	14
5 強みを生かした施設管理、業務及び施設管理を生かした多様な公共性、公益性の担い手.....	16
6 施設管理.....	19
7 収益事業.....	20
第3章 経営状況.....	22
1 公社全体の経営状況.....	22
2 財務の安定化.....	23
3 公益事業費.....	23
4 人件費.....	23
5 目標額一覧.....	24
第4章 取り組みを支える基盤・組織の整備.....	25
1 まちづくり支援事業の見直し.....	25
2 安定した指定管理事業.....	25
3 PFI・PPPへの対応.....	26
4 アセットマネジメントの推進.....	26
5 新型コロナウイルスその他新たな感染症への対応.....	26
6 ガバナンスの強化.....	26
第5章 人材育成.....	27
1 現状と課題.....	27
2 業務の承継について.....	28
3 専門知識、技能を有する職員の育成、採用、登用.....	28

[資料]

- 1 静岡市外郭団体（静岡市まちづくり公社）方針書

経営計画

公社のこれまで

成り立ち

- 昭和 16 年 静岡大火の基金から「財団法人興静会」を設立
- 平成 16 年 静岡市と清水市の合併に伴い、両市の振興公社を統合
- 平成 24 年 公益認定を受け、名称を「公益財団法人静岡市まちづくり公社」に変更

取り組み

- 中心市街地におけるまちづくり支援
- スポーツ施設等を活用した交流人口拡大
- 市営住宅の管理による、安全安心な住環境の提供
- ヘリポートの管理や道路パトロールによる災害対策
- 勤労者福祉センターの管理による勤労者福祉支援
- その他収益事業等

将来構想を策定

- 平成 26 年 将来構想を策定
- 主体的な存立基盤の再構築や先行きを見通した経営に取り組む

静岡市第 4 次総合計画

5 大重点政策

「世界に輝く静岡市の実現」

- ◇ 子どもの育ちと長寿を支える
- ◇ アートとスポーツがあふれる
- ◇ 城下町の歴史文化を守り抜く
- ◇ 港町の海洋文化を磨き上げる
- ◇ オクシズの森林文化を育てる

静岡市



管理施設を拠点とする『まちづくり』
～ 場所と機会と協働のネットワーク

人材育成

- 業務の承継
- 専門知識、技能を有する職員の育成、採用、登用

⇒ 第 5 章(27 頁)

について



『まちづくり広場』の形成を目指して
ネットワークの提供のために ～

取り組みを支える 基盤・組織の整備

- まちづくり支援事業の見直し
- 安定した指定管理事業
- PFI・PPP への対応
- アセットマネジメント
- 新型コロナウイルスその他感染への対応
- ガバナンスの強化

⇒ 第4章(25頁)

経営状況

- 経営状況
- 公益事業費
- 人件費

⇒ 第3章(22頁)

計画の目的

公社の役割を具現化する目標を設定し、その前提となる経営基盤を確立するため ⇒ 第1章(3頁)

計画の期間

令和5年度～令和8年度

公社の役割

- 1 賑わいの創出
- 2 安全安心な暮らしの支援
- 3 多様な公共性の提供

⇒ 第1章(3頁)

市民に提供する価値

- 1 中心市街地の賑わいの創出、まちづくり支援
- 2 交流人口・関係人口増加に資する施設等の管理、事業実施
- 3 セーフティネットとしての市営住宅の管理
- 4 災害対策・防災支援を担うヘリポートの管理
- 5 強みを生かした施設管理、業務、施設管理を生かした多様な公共性、公益性の担い手

⇒ 第2章(5頁)

第1章 経営計画書策定の趣旨

1 計画の目的

公益財団法人静岡市まちづくり公社（以下「公社」という。）は、静岡市におけるもっとも歴史の長い外郭団体であり、昭和16年の設立以来、一貫して静岡市（以下「市」という。）との協調連携のもと、それぞれの時代が求める要請に対して、積極的にその役割を果たしてきました。

また、公社は、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する事業を主たる事業としていることから、平成24年4月に「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づき、公益認定を受け現在に至ります。

この経営計画書は、市が策定した「静岡市外郭団体の活用及び連携に係る指針」（令和2年6月）及び「外郭団体方針書」（令和5年3月）を踏まえ、公益財団法人かつ特定の分野に捉われず多岐にわたる事業を展開する公社の特色を生かし「総合的な市のまちづくりのパートナー」として、機動性を生かし、市を補完・代替・支援する役割を果たすため、具体的にその内容を定めるものです。

2 計画の期間

計画の期間は、令和5年（2023年）度から令和8年（2026年）度までの4年間です。

令和6年（2024年）度以降は、前年度の検証、見直しを行っていきます。

3 公社の基本理念・役割

（1）基本理念

公社の基本理念は、平成25年度に策定した「静岡市まちづくり公社将来構想」にある「安定・持続的な発展を目指す」「市や市民の絆を強める」「最大限の地域貢献を果たす」に基づき、多種多様な施設管理を実施しており、それらを最大限活用して、「管理施設を拠点とする『まちづくり広場』の形成」を目指していきます。

（2）公社の役割

①賑わいの創出

- ・ 中心市街地の賑わい創出、まちづくり支援
- ・ 交流人口、関係人口増加に資する施設等の管理、事業実施

②安全安心な暮らしの支援

- ・ セーフティネットとしての市営住宅の管理
- ・ 災害対策・防災支援を担うヘリポートの管理

③多様な公共性の確保

- ・ 強み生かした施設管理、業務及び施設管理を生かした多様な公共性、公益性の担い手

4 計画の展開

計画の実施にあたっては、次の点に留意していきます。

(1) 静岡市 5 大重点政策への関わり

5 大重点政策に掲げる、「子どもの育ちと長寿を支える」「アートとスポーツがあふれる」「城下町の歴史文化を守り抜く」「港町の海洋文化を磨き上げる」「オクシズの森林文化を育てる」の推進実現に貢献するため、公社管理施設を活用し多様な事業を展開し、多くの市民の生活価値を高めるサービスを提供します。

(2) 市外郭団体との連携・協働

市が擁する地域資源を活かすため、他の外郭団体と連携・協働を図り、各々の専門性を活かした満足度の高い事業を提供し、市民の福祉の増進に資する市の政策の実現を目指します。

(3) 地域との結びつき

公社管理施設を、場所・機会・協働のネットワークの中心として捉え、多様な事業を展開することで地域コミュニティを活性化させ、人口活力を高め、まちと暮らしを豊かにするために、地域との結びつきをさらに醸成していきます。

(4) SDGs の推進

SDGs 宣言事業所として、質の高いサービスの維持に向け、管理施設を活用し「すべての人に健康と福祉を」を中心とした事業展開と、施設の長寿命化や環境に配慮した取り組みにより、持続可能なまちづくりに貢献します。

第2章 市民に提供する価値（現状・課題・取り組み）

1 中心市街地の賑わいの創出、まちづくり支援

（１）市民に提供する価値

いつでも活気に満ちあふれ、住む人、訪れる人をワクワクさせる中心市街地にする事で、商業機能の向上、賑わいの創出につなげます。

（２）現状と課題

静岡地区の中心市街地の人口は増加傾向にあり、市全域に占める割合も増加している一方で、呉服町、七間町、御幸町などの中心市街地全体の長期的な歩行者通行量の減少が続いていることが課題としてあげられています。

（３）今後の取り組み ～中心市街地整備推進機構の役割として～

ア 地域コミュニティの場の提供による、賑わいの創出

- コミュニティホール七間町の稼働率向上と賑わいの創出（まちは劇場推進の一拠点施設）
- 駐車場、イベント、観光などの情報発信を通じた、まちの回遊性を創出
- 駿府城公園、清水駅を中心とした、指定管理施設と周辺施設との連携による回遊性の向上
- 各種イベント団体等の支援を通じた賑わい創出

<取組事業名>

イベント・セミナーの開催、しぞ〜かでん伝体操、おまちく〜る、七間町青空市、まち歩きウォーキング、静岡おまちバル、シズオカ×カンヌウィーク、大道芸ワールドカップ in 静岡、安倍川花火大会



七間町青空市への参画



しぞ〜かでん伝体操の定期開催

イ 次世代への継承及び地域との協働

- 関係団体や商店街組織とのネットワークを活用したエリアマネジメントの推進
- 地元地域や学生と協働した賑わいの創出
- 関係団体等の会議への参加による情報収集
- 清水地区における地域資源コンテンツ活用事業への参画
- 商店街等における課題解決のためのワークショップの開催

<取組事業名>

I L o v e しずおか協議会支援、エリアマネジメント事業、富士山コスプレ世界大会協賛、地元大学インターンシップ受入れ、商店街の持続的発展に向けた課題解決事業

ウ 計画的な事業実施及び財源確保による継続的な事業実施

- 関係団体への情報提供や相談等の支援
- 保有資産(物件)の有効的な活用（M I R A I E リアン、ミライエ七間町）
- 自主（独立）事業の実施による財源の確保（駐車場案内システム、コミュニティホール七間町利用促進など）

<取組事業名>

ミライエリアン管理・運営、ミライエ七間町管理、駐車場案内システム、コミュニティホール七間町利用促進

（４）主な取り組み施設

コミュニティホール七間町、ミライエ七間町、清水駅東口駐車場・清水駅東口自転車等駐車場

（５）利益（収支）目標

コミュニティホール七間町の稼働率を上げることで、収支相償の赤字額減少に繋がっていきます。利益の毎年度の赤字額については、収益事業の利益を充当します。この充当は、収益事業を実施する公益財団法人に定められたものであり、賑わいの創出やまちの活力向上に資するものです。

単位（千円）

科 目	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
収 益（収入）	29,450	29,745	26,942	27,211
費 用（支出）	63,228	61,331	56,691	54,990
利 益（収支）	▲33,778	▲31,587	▲29,749	▲27,779

（６）評価目標

取り組み	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
コミュニティホール七間町稼働率	47%	48%	49%	50%
賑わい創出に関する支援活動の実施	180回	180回	180回	180回
賑わい創出に資する自主事業の利用者満足度	90%	90%	90%	90%

2 交流人口・関係人口増加に資する施設等の管理、事業実施

(1) 市民に提供する価値

安定したスポーツ環境の提供、様々な人がスポーツを楽しむ機会の提供、歴史文化を学ぶ機会の提供、地域資源を活かした魅力あるイベント等の開催及び周辺観光施設等との連携により交流人口・関係人口の増加や賑わいの創出を図ります。

(2) 現状と課題

新型コロナウイルス感染症拡大による利用制限などにより、施設利用者や教室等の参加者が減少し、施設の稼働率や財政状況が悪化し、公社の運営に支障をきたしています。

また、コロナ禍における新たな生活様式に伴い、子どもの体力低下、テレワーク推進による運動機会の減少、中高年齢者については、生活習慣病等の発症や体力・生活機能の低下が問題となっています。

(3) 今後の取り組み

スポーツや文化活動は、豊かな心と健やかな体を育むとともに、活動の中で出会った仲間との交流は、新たな活動や交流を創造し、地域に活気をもたらします。そこで、市の5大重点政策である「アートとスポーツがあふれるまちの推進」「城下町の歴史文化を守り抜くまちの推進」実現の担い手となるべく下記事業に取り組み、交流人口・関係人口の増加や賑わいの創出に貢献します。

特にスポーツにおいては、第2期静岡市スポーツ推進計画における公社の役割を理解し、市や関係団体との連携・協働体制を強化し、政策の実現に貢献します。

ア 誰もが楽しむことができるスポーツの推進

- 子どものスポーツ活動の推進
- 働く世代と女性のスポーツ活動の推進
- 高齢者のスポーツ活動の推進
- 多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進
- 地域や企業との連携・協働によるスポーツ活動の推進
- 他分野との連携によるスポーツ活動の推進

＜取組事業名＞

管理施設におけるフィットネス講座等の充実、誰でも参加できる健康促進教室の開催、しぞ〜かでん伝体操活動グループ支援事業、総合型地域スポーツクラブの活動支援

「Sport in Life プロジェクト」による「する」スポーツの推進

民間事業者と連携したスポーツイベントの実施、元気静岡マイレージ事業、自転車の利用促進

イ スポーツに日常的に親しむための環境整備

- スポーツ施設等の管理・運営
- 競技力向上への支援

<取組事業名>

スポーツ施設等の指定管理、スポーツクリニックの開催

ウ スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化

- 各スポーツ協会と連携を図ったキャンプ・合宿の誘致
- サッカー、野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進
- ホームタウンチームとの連携・協働の推進

<取組事業名>

キャンプ・合宿の誘致及び受入、サッカー日本代表応援事業、ホームタウンチームと連携したスポーツ教室、フォッサ・サッカーのまち市民協議会活動支援

エ 文化教養を学ぶ機会の提供

- 勤労者福祉施設の指定管理
- 伝統文化や就労に役立つ知識や技能習得の場の提供

<取組事業名>

勤労者福祉施設の指定管理、勤労者福祉施設における文化教養講座等の開催、資格取得のための講座等の開催、プレミアムフライデーイベントの開催等

オ 歴史文化施設の活用

- 歴史文化施設の指定管理
- 駿府城公園や静岡の歴史を体験、学習できる場の提供
- 豊富な歴史資源と中心市街地の商店街等をつなぐための回遊性の向上

<取組事業名>

散策ウォーキング、駿府城公園や静岡の歴史を体験・学習できるイベントの開催
宿場を巡るウォーキングイベントの開催

カ 地域活性化への取り組み

- 商店街や周辺施設等と連携したイベントの開催
- 地域イベントへの参画による地域活性化及び回遊性の向上

<取組事業名>

清水いはらフェス、蛇塚まつり、ゆらら健康まつり、ゆらら祭り、テルサ健康フェスタ、清水にぎわい落語まつり、日本酒試飲会、テルサ文化祭、総合型地域スポーツクラブ連携協働事業、ラペック祭り、しぞ〜かでん伝体操普及活動、J-STEP マルシェ、清水庵原球場フリーマーケット

(4) 主な取り組み施設

清水ナショナルトレーニングセンター、清水蛇塚スポーツグラウンド、清水庵原球場、ふれあい健康増進館、東部勤労者福祉センター、北部勤労者福祉センター、駿府城公園

(5) 利益（収支）目標

施設利用料金収入及び教室事業収入の収益の増加を図っていきます。

単位（千円）

科 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
収 益（収入）	1,172,954	1,233,051	1,262,535	1,268,912
費 用（支出）	1,244,870	1,251,094	1,257,350	1,263,637
利 益（収支）	▲71,916	▲18,043	5,185	5,275

(6) 評価目標

取り組み	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
健康づくりの拠点化事業の実施回数 （スポーツ教室の教室数）	39 回	39 回	40 回	42 回
コミュニティの拠点化事業の実施数 （地域活性化への取り組み事業数）	7 回	7 回	8 回	10 回
アスリートの拠点化事業の実施数 （スポーツクリニックの実施回数）	2 回	3 回	4 回	4 回
歴史文化の拠点事業の実施回数 （駿府城公園ソフト事業、自主事業回数）	20 回	20 回	20 回	20 回



魅力ある講座等の企画運営



誰もが参加できるイベントの開催



スポーツ施設の適切な管理運営業務の遂行



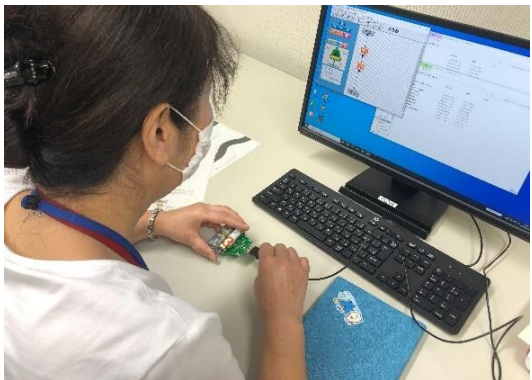
プロチーム等によるクリニックの開催



プロチーム等のキャンプ受入



パブリックビューイング



就労支援のためのパソコン講座



余暇の充実を図るイベントの実施



歴史文化を学ぶ見学受入れ



施設を活用した文化教養講座

3 セーフティネットとしての市営住宅の管理

(1) 市民に提供する価値

住まいのセーフティネットとして、住宅に困窮する低額所得者に安全安心な住環境を提供します。

(2) 現状と課題

現在、市営住宅入居者の高齢化率が上昇しています。また、施設・設備の老朽化や地域コミュニティの低下といった問題も抱えています。

(3) 今後の取り組み

高齢者が安心して暮らせるよう、見守り事業や、地域包括支援センターなどと連携した事業を実施します。施設や設備の老朽化に対しては、巡回業務を行い、市に情報を提供していきます。

緑化環境整備を実施した団地解体跡地は、近隣住民やこども園等子供たちの遊び場として活用され、令和4年度には新たに空き店舗を団地自治会に貸し出し月1回のフリーマーケットの開催に至りました。今後も地域コミュニティの活性化を促進する事業を支援します。

ア 高齢者見守り体制の充実と関係部局との連携

- 高齢者暮らしの相談会の開催（各区年1回）
- 元気応援コールの実施（月1回）
- 地域包括支援センターとの連携による「見守り事業」（適宜）
- 緊急時連絡先の登録の推進（都度）
- 巡回社用車へのAEDの搭載

＜取組事業名＞

高齢者暮らしの相談会、元気応援コール、地域包括支援センターとの協議会、緊急時連絡先の登録、巡回車へのAED搭載



公用车内に設置してあるAED



地域包括支援センターとの連携

イ アセットマネジメントへの対応

- 建物や設備等の不具合の早期発見（日々の巡回業務）
- 市への情報提供（毎月定例会にて報告）
- 修繕業者の登録制度の活用による、緊急時体制の強化（適宜）

<取組事業名>

巡回点検、市との定例会、修繕業者登録制度



定期巡回による周辺環境の確認



熟練職員による設備点検

ウ 地域コミュニティへの支援

- 苦情処理やトラブル対応に係るシステム化とマニュアル化（日々更新）
- 防災訓練の実施（市内で年1回）
- 住宅だよりによる情報提供（年4回）
- 団地内の緑化環境整備事業とその用地を活用したイベントの開催
（地域フリーマーケットへの支援等）

<取組事業名>

対応のシステム化・マニュアル化、防災訓練、住宅だより、団地役員との相談会、フリーマーケットの支援



フリーマーケットの様子



空き店舗の活用

(4) 主な取り組み施設

静岡市営住宅

(5) 利益（収支）目標

収入は指定管理料のみのため、収益に増減はありません。また、費用については、指定管理料を適切に支出します。

単位（千円）

科 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
収 益（収入）	382,816	382,816	382,816	382,816
費 用（支出）	382,816	382,816	382,816	382,816
利 益（収支）	0	0	0	0

(6) 評価目標

取り組み	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
入居者募集手続における 公正・公平の確保	実施	実施	実施	実施
入居者の満足度 （住まいるアンケート満足度）	90%	90%	90%	90%
入居者を対象とした高齢者見守り体制の 充実（元気応援コール）	12 回	12 回	12 回	12 回
福祉部署と連携した業務の実施 （高齢者暮らしの相談会）	3 回	3 回	3 回	3 回
事故等の 24 時間体制	実施	実施	実施	実施

4 災害対策・防災支援を担うヘリポートの管理

(1) 市民に提供する価値

災害や緊急時における安全で確実な地上交通の補完機能を提供します。

(2) 現状と課題

現在、長年の管理実績を生かし、安全で快適な航空交通の実現を図るとともに、設置目的の達成を目指し管理運営を行っています。災害・事故・テロ等の緊急時への対応力の強化が求められています。また、老朽化が進む施設や設備についても対応することが必要となっています。さらに、地域住民や市民に施設の役割、騒音等について理解していただくことも重要となっています。

(3) 今後の取り組み

対応力強化のため、消防や警察と連携した訓練を実施します。また、施設の長寿命化を図るため、改修の必要がある箇所を適切に判断し、市に提案していきます。施設への理解については、ヘリポート祭りやヘリポート連絡協議会で啓発に努めます。

ア 安全で快適な航空交通の実現

- 消防・警察と連携した訓練等の実施
- 航空法に基づく調査による優先改修箇所の判断
- 施設の長寿命化、緊急時の対応力の強化

<取組事業名>

各種訓練の実施、市への施設設備の更新の提案

イ 地域との融和・協調、施設の啓発活動

- ヘリポート祭りや施設見学会等の開催
- 施設への理解を深める啓発活動

<取組事業名>

ヘリポート祭りや見学会、ヘリポート連絡協議会の運営



静岡ヘリポート祭り



ヘリポート見学会

(4) 主な取り組み施設

静岡ヘリポート

(5) 利益（収支）目標

収入は指定管理料と委託料のみのため、収益に増減はありません。また、費用については、指定管理料を適切に支出します。

単位（千円）

科 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
収 益（収入）	40,528	40,528	40,528	40,528
費 用（支出）	40,528	40,528	40,528	40,528
利 益（収支）	0	0	0	0

(6) 評価目標

取り組み	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
設備の点検	実施	実施	実施	実施
管理瑕疵による事故件数	0 件	0 件	0 件	0 件



ヘリポート事業の啓発活動



消火訓練等安全への取り組み



災害対策・防災支援を担う

5 強みを生かした施設管理、業務及び施設管理を生かした多様な公共性、公益性の担い手

(1) 市民に提供する価値

団体の強みを生かし、安定的で質の高いサービスを提供します。指定管理施設等の管理を通じ、地域の振興を支援します。

(2) 現状と課題

公社の管理する施設間及び団体等と連携・協働して実施(広報・人的・物的)し、施設PR・利用促進及び連携団体などとの相乗効果が得られている状況ですが、さらなる地域(団地内・自治会)の課題や要望の把握、解決への提案や協力を推進する必要があります。

(3) 今後の取り組み

施設の適切な管理と、市民、地域及び各種団体と協働した事業を展開していきます。

ア 公社の強みを生かした施設管理

- 施設の適切な管理業務

<取組事業名>

静岡市公文書館、道路パトロール

イ 市民活動を活用した事業

- 市民活動と施設が相互に連携した事業
- 各種管理施設や業務の連携による事業の実施

<取組事業名>

しぞ〜かでん伝体操の普及活動、清水みなと祭りへの参加、清水七夕まつりへの参加、浜田地区自主防災会への参加、麻機遊水地フェスタへの参加、浴衣で花火を見に行こう、大浜ビーチフェスタへの参加、スルガフェスへの参加、しずおか元気応援フェアへの参加、フォッサ・サッカーのまち市民協議会事務局



市との連携によるでん伝体操の普及活動



地域イベントにおける施設のPR活動

ウ 地域振興支援事業

- 管理施設を拠点とした、地域振興支援等による地域活性化

<取組事業名>

清水いはらフェス、蛇塚まつり、ゆらら健康まつり、地域交流会、ゆらら祭り、テルサ健康フェスタ、清水にぎわい落語まつり、日本酒試飲会、テルサ文化祭、総合型地域スポーツクラブ連携協働事業、ラベック祭り、しぞ〜かでん伝体操普及活動、団地内緑化事業、静岡ヘリポート祭り、J-STEP マルシェ、庵原駅伝大会、清水庵原球場フリーマーケット



管理施設を拠点に自治会と連携した賑わいづくり「清水いはらフェス」「蛇塚まつり」

エ 大学等と連携した事業

- 学生が取り組む地域・社会的課題解決（フィールドワーク）への支援

<取組事業名>

フィールドワーク事業の支援、地域課題及びスポーツマネジメント論講師派遣
インターンシップの受入、学生への実践の場の提供（清水いはらフェス、テルサ健康フェスタ）など



大学生に実践の場を提供



スポーツマネジメント論の講師派遣

(4) 主な取り組み施設

静岡市公文書館、道路パトロール、清水ナショナルトレーニングセンター、清水庵原球場、清水蛇塚スポーツグラウンド、ふれあい健康増進館、東部勤労者福祉センター、北部勤労者福祉センター、駿府城公園

(5) 利益（収支）目標

指定管理施設を拠点とする連携事業については、前項に含まれているため、静岡市公文書館、道路パトロール事業・付随事業（公社 PR）にかかる収支のみとなります。

単位（千円）

科 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
収 益（収入）	12,452	12,452	12,452	12,452
費 用（支出）	12,452	12,452	12,452	12,452
利 益（収支）	0	0	0	0

(6) 評価目標

取り組み	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
公文書館管理瑕疵による事故件数	0 件	0 件	0 件	0 件
道路パトロール距離数	54,000km	54,000km	54,000km	54,000km
施設間での連携事業数	6 回	6 回	6 回	6 回
地域振興支援事業数	12 回	12 回	12 回	12 回
教育機関等との連携事業数	5 回	5 回	5 回	5 回
上記事業参加者の満足度	90%	90%	90%	90%

6 施設管理

(1) 市民に提供する価値

安全・安心な利用環境を市民（利用者）に提供するために、これまでの管理実績を活かした、日常点検や定期的な保守点検に加え、中・長期的な修繕計画を策定し市へ提案するとともに、災害時にも迅速に的確な対応ができる管理体制を構築します。

(2) 現状と課題

施設管理においては、専門業者による定期的な保守点検はもとより、職員による日々の点検・整備による予防保全を行い、事故や設備故障の防止に努めています。しかし、経年劣化による突発的な不具合、修繕等が増加傾向にあり、耐用年数を経過している設備等については部品調達も難しい状況です。

(3) 今後の取り組み

安全・安心な利用環境を提供するために、長年の管理実績を活かした修繕の提案や、維持管理に効果的な研修や資格取得等による職員の育成を実施します。

ア 安全・安心な利用環境の提供

- 長年の管理実績を活かした修繕等による施設・設備の長寿命化
- 適正な時期での設備の更新
- 専門知識、技能を有する職員の採用・育成
- 災害避難地としての地域住民の安全確保

＜取組事業名＞

専門業者による定期点検（法定点検含む）、職員による予防保全（日常点検等）
中長期的な修繕計画の策定・提案、専門知識・技能を有する職員の採用、育成
施設設備の更新の提案、避難訓練の実施

イ 災害時への対応

- 非常時の体制と迅速な対応の整備
- 大規模災害時のリスク分担、役割の明確化
- 各施設の「災害時等における施設利用の協力に関する協定書」に基づく対応
- 各種感染症への対策強化

＜取組事業名＞

危機管理マニュアル等の策定・見直し、防災（避難）訓練等の実施、普通救命講習の実施

7 収益事業

(1) 現状と課題

収益事業の要である駐車場事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による来街者の減少やコインパーキングの増加により収入が減少しています。

清水ナショナルトレーニングセンターやふれあい健康増進館の売店・レストラン事業においても、新型コロナの影響による減収が続き、経営に大きな影響を与えています。

なお、指定管理施設で収益事業を行う際、目的外使用等の規制により、自由な活動が難しいといった課題もあります。

(2) 今後の取り組み

駐車場事業については、料金の見直しや、新しい利用方法の提案など、利用者のニーズを見極めて利用促進を図るとともに、駐車場の空いているスペースを活用した事業も検討していきます。

売店・レストラン事業は委託方法などを含め、事業の内容を見直し、収益性を高めるよう努めていきます。また、施設を活用したイベントを開催することも検討していきます。

ア 駐車場事業

- 駐車料金の見直し、利用者拡大に向けたプラン提示や営業活動
- キッチンカーによる飲食の販売
- 広告スペースの提供

<取組事業名>

駐車場近隣ホテルへの営業活動、定期利用者紹介キャンペーン、近隣施設との連携、キッチンカー出店、広告収入の検討、キャッシュレス決済の導入

イ 売店・レストラン事業

- 委託方法、事業内容の検討

<取組事業名>

提供メニューや価格設定の見直し、キャッシュレス決済導入

ウ その他

- 収益性のあるイベントの開催

<取組事業名>

音楽イベントなど

(3) 主な取り組み施設

静岡駅北パーキング、清水千歳橋駐車場、清水柳橋駐車場、市庁舎駐車場、月極駐車場、清水ナショナルトレーニングセンター、ふれあい健康増進館、駿府城公園、コミュニティホール七間町等

(4) 利益（収支）目標

利用者のニーズを見極め、収益の増加を図っていきます。

単位（千円）

科 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
収 益（収入）	285,948	288,807	290,252	291,703
費 用（支出）	234,631	235,335	236,041	236,749
利 益（収支）	51,317	53,473	54,211	54,954

第3章 経営状況

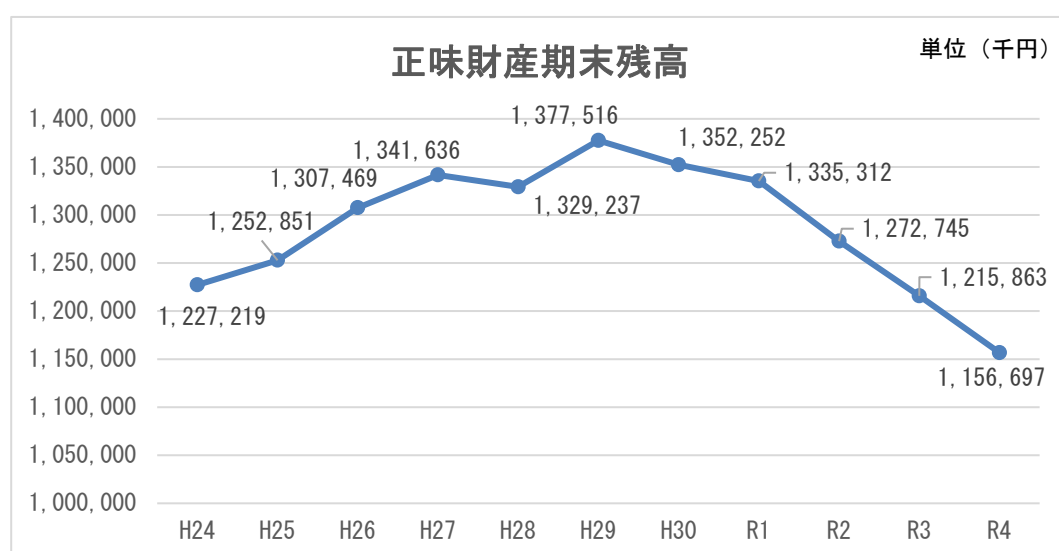
1 公社全体の経営状況

(1) 基本財産について

基本財産 386,300 千円の保持に努めます。

(2) 正味財産について

正味財産については、平成 29 年度までは概ね増加傾向に転じていましたが、令和元年度からは新型コロナウイルス感染症の影響、光熱水費等の物価高騰の影響もあり減少傾向に転じ、厳しい経営状況が 4 年間継続しております。今後は、ウィズコロナに対応した多様なサービス提供を実施することで収益を回復させ、安定的な経営状況を目指します。



単位（千円）

科 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
経 常 収 益	1,934,939	2,053,190	2,021,316	2,029,413
経 常 費 用	2,003,886	2,005,917	2,008,239	2,013,533
経常増減額	▲68,947	47,273	13,077	15,880
正味財産残高	1,087,750	1,135,023	1,148,099	1,163,979

2 財務の安定化

(1) 公益事業の収支

公益事業を安定的に継続していくため、また今後の社会的な課題やニーズに対して前向きに対応していくために、その収支改善及び公社全体の収支相償を図っていきます。

(2) 収益事業の収益確保

公社自主財源の柱となる駐車場等の収益資産は、周辺民間駐車場との価格競争等にさらされている中で、今後の安定した経営を確保するため、中期的目標を定め、変化する利用者ニーズに沿った改善に努め、収益の確保を図っていきます。

(3) 収益事業利益の活用

収益事業で得た貴重な利益については、公益目的事業への活用が必然とされています。公益目的事業を安定的に実施する上で、公益目的の達成と資金調達の両立を図っていきます。

(4) 効果的な資金運用

資金の適正かつ効率的な運用を図り、事業の安定的かつ効率的な進展に寄与させて、財務の安定化を図ります。

3 公益事業費

公社は公益財団法人として、収益事業で得た利益の一部を公益事業に繰り入れています。今後も利益の一部を市民へ還元し、団体の役割を果たすよう、積極的に取り組んでいきます。

単位（千円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
公益事業費	1,740,894	1,748,222	1,749,837	1,754,423
利益繰入額	23,921	25,172	26,022	26,886

※「利益繰入額」とは収益事業で得た利益から公益事業に繰り入れた額です。

4 人件費

人件費の増加については、各事業の収支目標にて賄う予定です。

人件費の推移

単位（千円）

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
人件費計	651,391	660,191	668,991	677,791

※正規職員の定期昇給は4号給、パートタイマーについては年間2%程度の最低賃金のアップを想定しています。

5 目標額一覧

事業別収支目標一覧です。

単位（千円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1 中心市街地の賑わい創出、まちづくり支援				
収益	29,450	29,745	26,942	27,211
費用	63,228	61,331	56,691	54,990
利益	▲ 33,778	▲31,587	▲29,749	▲27,779
2 交流人口・関係人口増加に資する施設等の管理、事業実施				
収益	1,172,954	1,233,051	1,262,535	1,268,912
費用	1,244,870	1,251,094	1,257,350	1,263,637
利益	▲ 71,916	▲ 18,043	5,185	5,275
3 セーフティネットとしての市営住宅の管理				
収益	382,816	382,816	382,816	382,816
費用	382,816	382,816	382,816	382,816
利益	0	0	0	0
4 災害対策・防災支援を担うヘリポートの管理				
収益	40,528	40,528	40,528	40,528
費用	40,528	40,528	40,528	40,528
利益	0	0	0	0
5 強みを生かした施設管理、業務及び施設管理を生かした多様な公共性、公益性の担い手				
収益	12,452	12,452	12,452	12,452
費用	12,452	12,452	12,452	12,452
利益	0	0	0	0
7 収益事業				
収益	285,948	288,807	290,252	291,703
費用	234,631	235,335	236,041	236,749
利益	51,317	53,473	54,211	54,954

公社全体 ※管理費。公社住宅を含む合計				
収益	1,934,939	2,053,190	2,021,316	2,029,413
費用	2,003,886	2,005,917	2,008,239	2,013,533
利益	▲ 68,947	47,273	13,077	15,880

第4章 取り組みを支える基盤・組織の整備

1 まちづくり支援事業の見直し

- 公社の役割
関係機関との調整を図る中で、まちづくり支援における公社の役割を明確にしていきます。
- 事業実績や効果の明確化
各種事業の実施における成果を分析、検証し、公社の今後の事業展開に活かします。
- 収支改善を図る
各種事業の収支バランスを図り、効果的な経費の活用と、必要に応じ、事業の見直しを行います。

2 安定した指定管理事業

指定管理施設については、今後も民間企業との競争が予想されますが、社会情勢に応じ求められる役割を的確に把握するとともに、多岐にわたる実績を生かした創意工夫ある管理運営に努め、施設の設置目的の達成を目指します。

(1) 指定管理施設指定申請スケジュール

施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
駿府城公園			総合評価 ・申請	
清水ナショナルトレーニングセンター等			総合評価 ・申請	
ふれあい健康増進館			総合評価 ・申請	
駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション			総合評価 ・申請	
北部勤労者福祉センター		総合評価 ・申請		
東部勤労者福祉センター		総合評価 ・申請		
清水駅東口駐車場等				
静岡ヘリポート			総合評価 ・申請	
市営住宅等				

3 PFI・PPPへの対応

- 適正配置方針に伴う公社の立ち位置

市が設置する公の施設、特に駿府城公園周辺及びスポーツ関連施設の施策推進については、関わりを持っていきます。

4 アセットマネジメントの推進

(1) 公社住宅

公社の資産である古瀬名及び新間の集合住宅については、築50年を超え老朽化の進行が顕著であること、市営住宅等の需要が減少し戸数が削減していること、大規模改修による費用対効果が望めないことから、当経営計画の期間内に廃止及び解体跡地として売却する方向で検討します。

(2) 駐車場

清水区の千歳橋駐車場及び柳橋駐車場においては、静岡県が進めている巴川水系河川整備事業として、河川構造令に不適合となっている当駐車場は、数年以内にその対応が求められるものと思われます。対応としては、改修又は撤去となるが、その費用は莫大な予算が必要となるが、公社の保有財産では対応が難しいことから、県及び市と協議を継続し、対応策を検討していきます。

5 新型コロナウイルスその他新たな感染症への対応

社会経済活動が本格的に動き出すなか、ウィズコロナに対応した多様なサービスを提供し、利用者数増、売り上げの回復を目指し、今後、新たな感染症などが発生した場合においても、安定的な経営基盤を確保していきます。

6 ガバナンスの強化

(1) 組織体制の再構築

業務効率の向上を目指した提案・改善などを積極的に取り入れる仕組みづくりに努め、公社内の各部署の情報共有と連携が効率的に行われる組織体制・配置を検討していきます。

(2) 経営企画機能

目標実現の手法や活動などの必要性から、その仕組み作りとして戦略性とマネジメント力の向上に努めます。

(3) 事業評価・チェック機能

各事業の進捗状況や成果を評価することにより、将来の事業に活かすことが必要です。そのため、公社内の他部署での評価や意見交換ができる組織風土を維持し、さらに法令遵守や相互牽制の体制構築なども重視し、今後の取り組みを進めていきます。

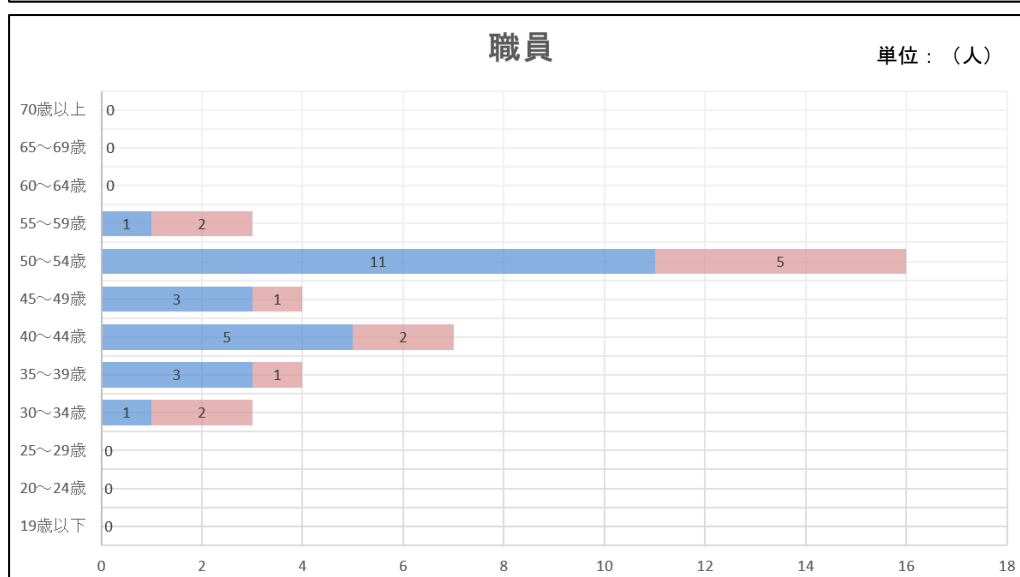
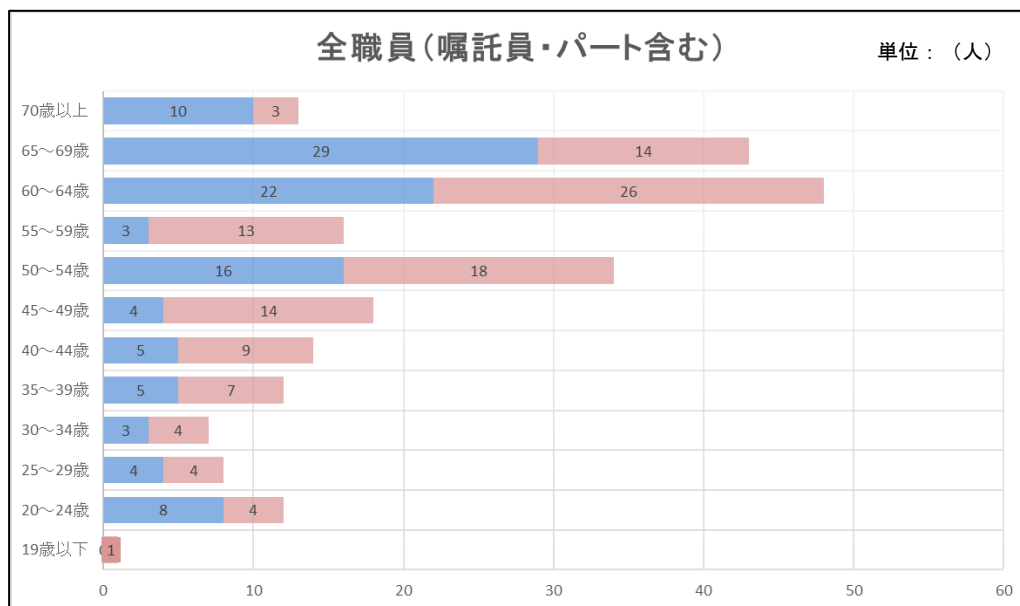
第5章 人材育成

1 現状と課題

年齢分布一覧

■ : 男性

■ : 女性



単位 (人)

	職員	嘱託員	パート	合計
男性	27	14	68	109
女性	16	13	88	117
計	43	27	156	226

※人数は令和5年4月1日現在

- 全職員において、60歳以上の人員が多く、高齢化が進んでいます。
- 5年後、現在の50～54歳の層の人件費が増加する見通しです。

2 業務の承継について

- 本部で行う専門性のある業務継承（経理・給与関係等）
必要な資格の取得、経験の積み重ねと継承を組織的に行います。
- 施設管理対応
施設の特徴を把握し、事業の継承と修繕履歴等の引き継ぎ・提案を行い、安全・安心な管理に努めます。

3 専門知識、技能を有する職員の育成、採用、登用

- 資格取得、経験
管理施設に必要な資格の取得、経験の積み重ねと継承を組織的に行います。
- 人材・ノウハウの確保

（１）長期的・計画的な採用、登用、育成

施設運営に必要な専門資格、同じく必要となる経験と能力、公社が求める人材像などを明確にし、長期的な見通しの下で人材を育成していく必要があります。これにより、長期的な事業展開に相応しい組織バランスに配慮するとともに、研修や人事異動による能力の向上を図り、人材育成に努めます。

目標値

取り組み	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
人材育成・研修への参加・実施	16回	16回	16回	16回
専門性のある職員の採用、登用、資格取得等	1件	1件	1件	1件

(参考資料)

●各取り組みにおける評価目標

1 中心市街地の賑わい創出、まちづくり支援

取り組み	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
コミュニティホール七間町稼働率	47%	48%	49%	50%
賑わい創出に関する支援活動の実施	180 回	180 回	180 回	180 回
賑わい創出に資する自主事業の利用者満足度	90%	90%	90%	90%

2 交流人口・関係人口増加に資する施設等の管理、事業実施

取り組み	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
健康づくりの拠点化事業の実施回数 (スポーツ教室の教室数)	39 回	39 回	40 回	42 回
コミュニティの拠点化事業の実施数 (地域活性化への取り組み事業数)	7 回	7 回	8 回	10 回
アスリートの拠点化事業の実施数 (スポーツクリニックの実施回数)	2 回	3 回	4 回	4 回
歴史文化の拠点事業の実施回数 (駿府城公園ソフト事業、自主事業回数)	20 回	20 回	20 回	20 回

3 セーフティネットとしての市営住宅の管理

取り組み	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
入居者募集手続における 公正・公平の確保	実施	実施	実施	実施
入居者の満足度 (住まいるアンケート満足度)	90%	90%	90%	90%
入居者を対象とした高齢者見守り体制の 充実(元気応援コール)	12 回	12 回	12 回	12 回
福祉部署と連携した業務の実施 (高齢者暮らしの相談会)	3 回	3 回	3 回	3 回
事故等の 24 時間体制	実施	実施	実施	実施

4 災害対策・防災支援を担うヘリポートの管理

取り組み	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
設備の点検	実施	実施	実施	実施
管理瑕疵による事故件数	0件	0件	0件	0件

5 強みを生かした施設管理、業務及び施設を生かした多様な公共性、公益性の担い手

取り組み	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
公文書館管理瑕疵による事故件数	0件	0件	0件	0件
道路パトロール距離数	54,000km	54,000km	54,000km	54,000km
施設間での連携事業数	6回	6回	6回	6回
地域振興支援事業数	12回	12回	12回	12回
教育機関等との連携事業数	5回	5回	5回	5回
上記事業参加者の満足度	90%	90%	90%	90%

6 人材育成

取り組み	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
人材育成・研修への参加・実施	16回	16回	16回	16回
専門性のある職員の採用、登用、資格取得等	1件	1件	1件	1件